地球畑の「いま」を伝える情報誌

地球畑通信

2016 秋号

TAKE FREE

12月8日は 有機農業の日

ORGANIC AGRICULUTURE DAY

カフェの誕生と
有機農業推進法

生産者コラム 良き師に恵まれて

おかげさまで 10 周年！
草原をわたる船 感謝企画

谷山店着任のご挨拶
鹿児島にしかできないこととは何か？

加工チーム 秋の新商品紹介

農場研修にて / 一期一会 地球畑でおしえられたこと

カフェの誕生と有機農業推進法

地球畑代表
大和田明江

地球畑カフェができたのは、今から10年前、２００６年の12月。

時あたかも有機農業推進法が制定された時でした。

有機農業推進法は、有機農業の社会的意義を明らかにし、総合的な施策を講じ、「有機農業の発展を図ることを目的とする」法律です。これによって消費者が有機農産物を入手しやすくし、「消費者の理解と関心の増進」や有機農業者と消費者の連携を図ることなどを基本理念に掲げています。

当時は、２０００年に始まった有機ＪＡＳ制度により有機表示が義務化され、わずかな有機農家への規制や監視が急に強まり出した時代。私自身、地球畑の仕事以上に兼務するＮＰＯ鹿児島有機農業協会の事務局長として、国の有機農業政策に神経をとがらせ、当事者として悩み苦しむ日々が続いていました。

私たちの組合でも「なぜ有機農業だけ費用を自分で負担して認証を受けなければならないのか」「健康や環境を守るためならば、食品添加物と同じように使用した農薬や化学肥料の表示こそ義務化するべきだ。」と納得しかねる声が渦巻いていました。

その前年、組合20周年を記念して製作された本「みちょってみやんせ 南九州から有機生活―かごしま有機農業生産組合20年の提案」の前書きに、私も「有機農業への評価が伴わず、表示のためのみに行われる監視や取り締まりは、有機農家を疲れさせ、意欲やプライドさえも失わせかねない状況です。法的手続きに則って有機であることの説明を強制する以上、まずは有機農業の意義や必要性を認め、技術の確立や普及など社会的体制整備こそ急ぐべきでした。」と書いています。

こうした声の高まりを受けて、百数十名の国会議員による有機農業推進議員連盟が結成され、議員立法として全会一致で可決成立したのが、「有機農業推進法」です。

議員連盟の勉強会に呼ばれて、東京の議員会館まで鹿児島の現状を話しに行ったり、どうしたらこの状況を打開できるか、私たちも必死でした。

「有機農業の推進は国の責務であり、地方公共団体の責務である」と明確にうたったこの法律は、しかし、当時の自民党から共産党まで超党派の議員連

盟による議員立法であったため、幸か不幸か、さしたる論議もなく、12月8日に成立、15日には施行という速さであっという間に国会を通過。一部の関係者以外ほとんど知られることなく現在に至っています。※

カフェのオープンはそれから10日後の12月25日でした。

長いあいだの懸案事項がようやく緒について、うれしいようなほっとした思いで師走の夜空を見上げたことが、今も思い出されます。

ビルの大家さんである久野さんから、カフェの場所を地球畑で使いませんか、と言っていただいた時、有難いお話ではあったけれど、決断には長い時間がかかりました。

有機農業を広げ、地元のおいしい有機野菜を地元のみなさんに食べてもらいたい、という一念で地球畑が誕生してから15年。食べに来ていただく場所があれば、もっと裾野が広がります。が、誰がそれを担うのか。

地球畑の食材で心のこもった家庭料理をつくるという方向性だけで、オーガニックレストランを自分たちで一から創り上げ、しかもあれだけの広さを使いこなす、ということは、並大抵のことではありません。第一、有機農業を理解し、その日届いた季節の有機野菜に合わせてメニューを考え、調理ができる料理人なぞ、そう簡単には見つかりそうもありませんでした。

何ヶ月もじっと待っていてくださった今は亡き久野さんが、最終的に答えを求めてきた時、手を挙げてくれたのは、タイの大学から一時帰国していた三女でした。

彼女を中心に様々なプレッシャーの中、体当たりで地球畑カフェの基礎を創ってくれた若者達。人が集う場所という意味を込めて、カフェという言葉にもこだわりがありました。カフェに寝泊りする程傾けた彼女たちの思いは、今もカフェのコンセプトとして、様々な形で生き続けています。

※有機農業推進法が成立した12月8日は「有機農業の日」となりました。次頁参照

地球畑 10 周年企画
お客様アンケートより

たくさんの皆様にアンケートにお答えいただき、
ありがとうございました。
「10 周年おめでとうございます」というお祝いの言葉や
温かい励ましの言葉を多く寄せていただき、
心より感謝申し上げます。

アンケートの一部を 6 ページにまとめています。
どうぞご覧ください。

生産者コラム

良き師に恵まれて

生産者・小田 勝也

僕は鹿児島の北海道、伊佐市で農業をして４年目です。現在約 1.5ha の面積を栽培管理しておりますがこうして日々有機農業が出来るのも先輩方が 20 年以上もの間、有機農業で野菜を作り続け、結果を出してきたお陰だと実感しています。

今みたいにインターネットやテレビ等のメディア（情報）の無い時代、農薬や化学肥料を使用しないと絶対に野菜が作れないと誰もが思い、信じていた時代。

そんな頃から農薬や化学肥料を使用する事に疑問を感じ世間の目や風当たりをものともせず、ブレる事なく有機農業を続ける。僕が想像出来ないほどの苦労と努力、試行錯誤の連続だったでしょう。

僕の周りには、そんな厳しい時代を乗り越え、今も現役で有機農業をされている方々がいます。何のあても無くこの世界に飛び込み、資本も知識も経験もない僕に親身になり、野菜の作り方をアドバイスして下さり、農地の紹介、機械の貸し出しも「よかど」の一言で快く引き受けて下さったりと今もお世話になりっぱなしなのですが、僕はそんなお師匠達と話をする時間は本当に好きで、僕自身が成長出来る一番の肥やしだと思います。

僕の目標はいつまでもパワフルな師匠達と同じ年まで健やかに農業を続ける事、切り開いて下さった有機農業を次の世代に繋げていく事です。そして今の環境がいかに恵まれているかを忘れないよう、感謝します。

生産者紹介

地球畑代表・大和田 明江

小田 勝也

小田さんは就農４年目の 34 才。笑顔のステキな若者です。東北大震災を機に、田舎暮らしをしたいという思いが強まり、農業ー有機農業で生きていけないか、と考えるようになりました。インターネットなどで色々調べる中、かごしま有機生産組合の有機農業支援センターが見つかり、県外から鹿児島にやってきました。

小田さんに初めて出会ったのは、晩秋か初冬のある日。小春日和の日射の中で、妻の千裕さんが赤ちゃんを背負い、二人で一生懸命畑仕事をしている時でした。その時の二人の姿が今も心に残っています。その赤ちゃん、娘の菜月ちゃんももう三才。

やっぱり大変なこともあるのでは？と尋ねると、“農業で食べていくのは大変は大変。だけど、お金で買えない豊かさがある。”と、元気な声でキッパリ。“何よりも、近くに阿久根さんや池田さん、久保田さんなど、超ベテランの師匠達がいて、色々教えてもらえる。良い環境に恵まれて、自然の中で生きられることが幸せだし、毎日楽しいです。”とはずんだ声で答えてくれました。“夫婦で仕事ができるのも農業の特権かな、”と。
そして、“あえて、大変な時といえば、忙し過ぎる時。手が回らなくて収穫できなかったり、色々なことがあるので考えていかなければと思っています。まだ作付の全体像が自分の中で見渡せていないけれど、今後は、雇用とか他の方法も考えていきたいです。”と。

地球畑がもっと生産者のみなさんの顔の見える売場になるには？という質問には、“地球畑のお店の一角に何人かで作物を持ち寄って支部のお店を開いたり、何かできたらいいですね。”という答え。

11 月 24 日は小田さんが西田店にやって来ます。ぜひ会いに来てくださいね。

2016年12月8日は 有機農業の日！

10 年前の 2006 年 12 月 8 日は、国会において市民の手による「有機農業推進法」が成立した日で 10 周年の節目の年です。このたび、一般社団法人日本記念日協会において、12 月 8 日を「有機農業の日」として設定することが認められました。

日本における有機農業の認知度は「オーガニック」というファッション的な要素の方が強い現状もありますが同時に、そこを「入口」としたオーガニック一年生（私も含め）が、「田舎暮らしを始めたい」「自然といのちを大切にする心を育てたい」「持続可能な社会をめざしたい」といった思いから、有機農業への興味や関心も高まっている現状もあります。

「有機農業の日」は、こうした人たちが更に有機農業の未来について考え、思い描く社会や暮らしに向けてアクションをおこすきっかけとなり、これまで培われてきた有機農業関係者の協力を、より一層強めることはもちろん、「つくる人」「食べる人」と、そしてそれを「つなぐ人」にとって、“土に親しみ、土に触れること”を通して有機農業の大切さを共感できる場を提案したいと考えています。

この期間、オーガニック食品を贈る、食べる、愛でる、をテーマにして、イベント等が日本の津々浦々で開催され、広まっていけばよいなという思いです。

地球畑企画課　満留

地球畑カフェ荒田店

草原をわたる船

10周年にむけて

今年の12月でお店がオープンして丸10年。試行錯誤を繰り返しながら、沢山のお客様の“美味しかった”“元気になれる！”“地球畑カフェがあって良かった”等などの声に支えられて、続けてくることが出来ました。今後も色々な楽しい企画を練って、美味しいものを届けて生きたいと思います。

前店長から引き継ぎ 3 年ちょっと。まだまだ未熟者の店長ですが、ご指導、ご伝達をいただき、なんとか継続してこれました。この 10 年、多くの生産者さんや消費者の方々のご支援があったからこそ今の地球畑カフェがあります。

どのような企画がよいか考える中でお客様の声を聞いてみたいと思い、先日、お客様アンケートを実施しました。様々なユニークなアイデアもあり、ワクワク楽しめる企画にしたいと検討した結果下記のような企画になりました。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

10th Anniversary!

10 周年企画

第1弾 12/8(木)

有機農業の日！

バイキングデイ

有機野菜・天然魚・飼料からこだわったお肉などご堪能ください（´∀｀）
スイーツバイキングも含みます。
当日限定のベジタリアン対応メニューも。お楽しみに！！
※通常のランチはお休みさせていただきます。

有機野菜をたくさん味わってもらいたい！

第2弾 1/15(日)

蚤の市 お祭り開催

いつものカフェとはちょっと違う１日限定のイベントです♪かわいいハンドメイド雑貨やフェアトレードの小物、お祭りならではの限定メニューやデリ、スタッフによるワークショップも開催予定ヽ(*´∀｀)ノ
みんなが楽しめる、そんなスペシャルな１日にしたいと内容検討中です！！

詳細は決まり次第、店頭、ちらし、Facebook などにて告知致します♪お楽しみに。

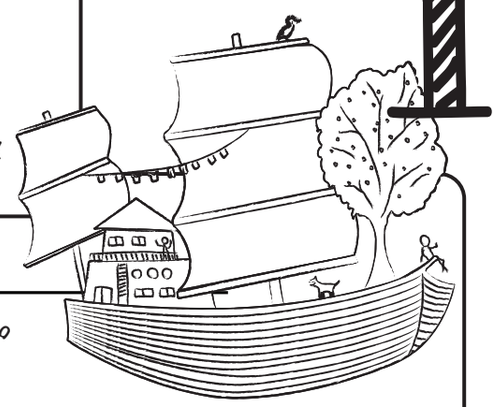
Facebook 更新中！

お店の情報を随時 Facebook で更新しています。
お野菜のことを始め、メニュー・イベントのお知らせやご案内もしています！！ぜひご覧ください！！
https://www.facebook.com/sougenwowatarufune

アンケートから一部を抜粋！

10周年でやってほしい企画

- 食育や調味料などに関する勉強会
- 味噌や甘酒作りなどのワークショップ
- バイキング企画や 10 周年記念コース料理
- オーガニックの料理教室やお菓子作りの教室
- 野菜プレゼントなどその場でもらえる抽選BOX
- 10 周年クッキープレゼント



お店への要望、ご意見

- 地球畑にずっと続いてほしいと思っています。
- スタッフさん、みんなみんなステキです。
- 野菜サラダが充実しているのが嬉しい！
- 天ぷら丼を頂きました。ご飯がとても美味しい。
- ドレッシングがおいしい。野菜がたくさん食べられてウレシイです
- 子連れでゆっくりできて助かります
- 野菜そのままの味でおいしいです
- ごはんの種類が選べてバイキングの野菜は色々な種類があっておもしろかった。
- とても美味しいです。いつもメニューが変わっていてすごいなと思います
- メニューは少ないが、本日のお膳は来るたびに違うので新鮮でとてもおいしい。子どもを連れてよく来ますが、サービスもいいです。
- とてもおいしく、店内もリラックスできました。

こうなればよいと思うこと

- 野菜のところに「この野菜はこういう効果・栄養素がある！」等書いてほしい
- サラダコーナーにノンオイルドレッシングがあると大いに助かります。
- 油料理（天ぷら）を少なめにして蒸し料理があれば
- レディースランチのようなすこしボリュームひかえめがほしいです
- 野菜の煮物がとても美味しいのでレシピをもらえたらな～と思いながら食べています
- 車ふを使ったメニューがほしい
- もう少しメニューの数があれば…と思います。家族や男性向けのものもあれば。
- メニューを一品ずつ選択できると自分のオリジナル定食ができるので嬉しい。
- こんな野菜の食べ方があったのか！という意外性を楽しめたら。
- 定食、セットメニューに小さいミニデザート付だと嬉しい。
- アイスクリーム、ジェラートがあったらいいなと思います。
- 夜ごはんの回数チケットがあるとうれしい

谷山店 着任のご挨拶

谷山店 松倉

当時、転勤族で鹿児島を離れていた私が実家に子供たちを遊びにつれて帰るたびに、家庭菜園のなす･かぼちゃなどがてんこもり入った具だくさんの味噌汁や、インゲン･じゃがいも･人参・里芋などそのときの旬の野菜と西田店近くで開催される春の木市で買ったひよこを育てた新鮮な鶏を使った煮物が食卓に出ました。そのころ小さかった子供たちにとっては、毎度食べさせられるので、さすがにまた！と少々飽き飽きしていた感じを想い出します。

その子供の一人、長女も 32 歳になり今年 4 月に結婚し節目の年になりました。安堵と寂しさの交錯する中で、安堵のウエイトが高まってきた今日このごろ…

１０月１０日より、荒田店より２年ぶりにまた、谷山店に着任しました。
日頃よりお世話になっているお客様には、フレンドリーに・気さくに・誠実にをモットーに体の中に直接入っていく有機野菜、その有機野菜で作られた地球畑オリジナルの加工品はじめ安心安全な食物をどんどんすすめていきたいと思います。また、宜しくお願い致します。

自分的には、スローライフ…大量生産よりも手作り、効率よりも文化やゆとりに価値を見い出す方への楽しみ、ゆっくり、ゆったり、心豊かにを…もともとの性格の大ざっぱさ、いい加減さを日々追求していく感じです。

鹿児島にしかできないことは何か？

農産企画課　内徳

大学で中山間地域の地域づくりを学んでいた私は、「農家の生活を経済的に豊かにできる会社をつくりたい」と鹿児島に帰ってきた。現場の声を聞き取るべく「変わり者農家」を回っていたが、こだわり野菜のマーケットは確実に大きくなっており、26歳の若造に出来ることは何もないように思えてしまった。夢半ばで諦め東京へ戻ろうと考えだした頃、参加したフォーラムで両代表と出会い、今に至っている。

販売側として生産者と消費者の声を聞いていると様々なギャップを感じる。資材費の高騰、人件費の捻出、効率化のための投資など、「生産コストが大きな負担になっている」とよく耳にする。その一方で、厳しい天候、自然環境への対策も講じる必要がある。生産コストを削減しつつ、生産労力を積み上げる、途方も無いようなギャップである。

また、鹿児島は高いお金を払わなくても食の安全が手に入れられる。田舎らしい地域交流が根付いており、小さい田畑が周りに点在していることがそれを可能にしている。家庭菜園、強敵である。そうした環境にあって、「地産地消」で農業という営みは支えきれるのだろうか。

ファッショナブルに有機が拡がり、付加価値という言葉が氾濫している都市部。運送費はかかるが、消費圏であることには間違いない。期待も当然高まり、ニーズも多様化する中で、産地として如何に対応していけるかがが問われている。

周年出荷体制の確立に向け冷蔵庫の新設、選ばれ続ける商品づくりを目指した「うまい野菜プロジェクト」。一つ一つの積み重ねを通して、調査、情報提供、提言を進めてまいります。

鹿児島らしさ、鹿児島にしかできないこととは何か。早出し、安定出荷への技術向上、伝統野菜の生産について共に考え、取り組んでいきましょう。

お客さんが喜ぶ商品づくりを。組合として何が出来るか。

2016 秋の新商品紹介

地球畑企画課・加工チームが
試作を重ねた新商品をご紹介。
地球畑各店舗で販売中です！

人参とりんごのゼリー

甘味ののった旬の有機人参を、
青森県産のりんご100%のジュースと
合わせました。
さっぱりと召し上がれます。

がらりジャム

花螺李（がらり）とはすももの一種。
特徴となる深紅色は、抗酸化作用のあるアントシアニンを多く含んでいると言われます。鹿児島県産、無農薬・無化学肥料のがらりをじっくり煮詰め、食欲をそそる甘酸っぱいジャムに仕上がっています。

季節の野菜ピクルスシリーズ

コリンキーとオクラ

コリンキーって何？と思われる方が多いと思いますが、かぼちゃの一種でサラダとして生食でも食べられます。サクっとあっさり食べられる鹿児島県産のコリンキーとオクラをピクルス漬けにしました。

紅さつま芋とごぼう

焼いたり蒸したりホクホクして食べる紅さつま芋をピクルスに！？と驚かれると思います。
素材の甘味を感じられる紅はるか芋とごぼうがピクルスの酸味と意外に合います。秋を感じられる一品です。

新商品続々開発中！

農場研修にて

一面のレンゲ草畑へダイビング。

レンゲの草花にうもれ、青い空と真っ白い雲を眺め「魚」「ゴジラ」…と雲の形が何に見えるか寝転んでゆっくりとした時間が流れていたのは宮崎で過ごした幼少期。当時は、ザリガニとり、おたまじゃくし、ゲンゴロウ、タニシ、お腹が色とりどりのイモリ、バッタ、カマキリ…数えきれない種類の昆虫を見つけるチビッコ五人組の木登り、山すべりの大冒険。イガ栗…取ってよかったのか…？（汗）オレンジ色の夕暮れになったらトンボの大群と共に帰宅の途。

遅ればせながら皆様こんにちは、入社して早一ヶ月。

当初まだ保育園児だった私ですが、ふとした時にあの頃の土、草花の香り、澄みきった空気や風の感覚を思い出す瞬間があります。先日、研修で加世田農場にて深ネギとらっきょう植えの体験をさせていただいた時、あの頃の香りを思い出しました。

又、印象的だったのはふかふかの土。足を一歩踏み入れると、足もとから愛情を感じるほど、土作りにも心が込められているのを体で感じました。
又、びっくりしたのは全て手作業。一苗ずつ倒れない様、丁寧に植えつけていきます。又、らっきょうは植えつけ時、より深く植えることで実が大きく育つとの事。その為の秘密兵器も素敵な笑顔で説明下さり、楽しんで工夫改善されている様子が伝わってきました。" 良い仕事、生き方をされる方は、人相にあらわれる " 生産者の方々とお会いするたび感じます。手をかけて大切に育てられた野菜は、たくさんのパワーがあります。食すると身体が喜ぶのがわかります。私自身は生活の質も変わる気がします。

あたり前である事を貫き続けることが容易ではない時代ですがあの頃の様な豊かな自然環境をとりもどすためにも、地球畑に足を運んで下さるお客様一人一人を大切に、」たくさんの輪がつながっていけるよう、楽しみながら年輪を刻んでまいりたいと思います。

地球畑　荒田店　池野

一期一会

地球畑で おしえられたこと

地球畑通信をご覧の皆様、はじめまして。４月から西田店のスタッフになりました、横井です。働き始めてようやく半年。季節ごとに届けられるお野菜、商品から学ぶことがたくさんあり、忙しくも新鮮な驚きで充実した毎日です。

先日西田店にご来店いただいたたまり農園の玉利さんに、「豚は何頭ぐらい飼育されているんですか？」と訊ねたところ、20 頭、というお答えで、びっくりしました。20 頭… 1 頭 1 頭の個性を見つめて、安全なごはんを与えて、育てあげていらっしゃるわけです。今までお肉を沢山食べてきましたが、初めて、生命をいただくということがどういうことか、を考えました。

その前の８月には霧島の生産者さんの畑をまわる研修に混ぜてもらい、畑を見ながら生産者さん同士の意見交換の場にも立ち会ってきました。

散布される農薬から守るために山間の土地を開墾して、それだけでも大変なことなのですが、ただ育てるだけではなく、売り物としてさらに水準を高める努力を皆さんしていらっしゃることが、本当にすごいなと思いました。

農薬（殺虫剤）を使えば野菜を食べに来る虫は撃退でき、見た目はきれいな野菜ができます。しかし結果、野菜に農薬が残留し、人体にアレルギーを引き起こしてしまいます。

そんな事態を起こすことのない野菜を、台風や大雪にも負けずに作り続けて下さる地球畑の生産者の皆さんの姿は本当に素晴らしく、この素敵な方たちの仕事が後世にずっと続くように、私も微力ながらお手伝いしたい、と思いました。

研修の日は猛暑で、歩き回るのが大変でしたが、最後に主催の市川さんが「こんな暑い日でもがんばってる野菜の姿を見てほしかった」とおっしゃっていたのが印象に残っています。

これからの地球畑には沢山の秋冬の味覚が次々と登場します。さまざまな種類のりんご、柑橘。根菜、葉物もそろそろ出揃います。みんな、厳しい夏を耐え抜いてきています。ぜひ手にとって味わって、食べ物から力を分けてもらって、季節を乗り越えていきたいです。

地球畑　西田店　横井

2016 Winter Organic Gift

地球畑冬のオーガニックギフト、今年もやります。
スタッフが厳選した「地球畑基準」の商品のみを掲載。

くだもの、さつま芋、お肉、お米、さつま揚げなどの定番商品をはじめ
オリジナルブランド商品も充実。今回初掲載の商品も！
詳細はスタッフまでお問い合わせください。

草原をわたる船 季節のイベント情報

11月19日（土）20日（日）は毎年恒例のビッグイベント、
"**オーガニックフェスタ**"へ出店のため、カフェは通常営業をお休みとさせていただきます。
今年もドルフィンポート前広場で開催。楽しく、ワクワクできる内容になっています。
おいしいお野菜もあり、生産者さんの顔が見えるスペシャルなイベントです。

ぜひみなさん遊びにきてくださいね！！ドルフィンポートでお待ちしております＼（´▽｀）/

12月は**クリスマスケーキ・オードブル・おせち**と企画物が盛りだくさん（*´∀｀）
スタッフが真心こめて、ひとつひとつ手作りしています。地球畑各店で予約チラシ配布中！

地球畑 chikyubatake

たくさんの生産者

「有機農業を広げること」「有機農業に取り組む生産者の輪を拡げること」をコンセプトに1984年、有機農産物の組合としてスタートした(有)かごしま有機生産組合の直営店です。

どんな商品があるの？

地球畑には有機野菜を基本に、お米や果物、天然鮮魚、薬剤投与を一切されずに育てられた豚・牛・鶏のお肉、昔ながらにこだわった調味料、日配品、体にやさしかったり環境に配慮したり、フェアトレードの雑貨や飲み物やお菓子も安心していただけるたくさんの品物を取り扱っています。

どこにあるの？

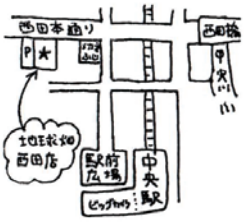
★ 地球畑 荒田店　営業10:00～19:30
〒890-0056 鹿児島市下荒田3-17-1
Tell. 099-812-0668
http://ameblo.jp/a-chikyu-batake/

★ カフェ・草原をわたる船　営業11:00～21:30 オーダーストップ 21:00
〒890-0056 鹿児島市下荒田3-17-1
Tell. 099-201-7000

★ 地球畑 谷山店　営業10:00～19:00

〒891-0113
鹿児島市 東谷山
5-27-3
Tell.
099-822-1055
http://tikyuubataketaniyama.chesuto.jp/

★ 地球畑 西田店　営業10:00～19:00



〒890-0046
鹿児島市 西田
2-6-19
Tell.
099-259-6089
P 有
ブログ http://chikyubatakenisida.chesuto.jp/

各店フェイスブックもやってます！
「地球畑」で検索♪